

令和6年度
事業報告書

令和6年度 事業報告

令和6年度のはまなす荘は、基本理念である利用者の尊厳を守り、健康で幸福な日々の幸福生活に努めてきました。利用者の確保については年度当初43名の入所者のうち3名が死亡退所したことにより年度末には40名となり経営面では厳しい一年となりましたが、不要不急の支出を抑えながらも生活支援員1名を確保することにより、利用者の安心安全を図るとともに日常生活の満足度を優先し「そば打ち実演」や「日帰り旅行」等を実施したところです。

基本方針1「利用者の権利擁護と虐待防止の推進」では、県内で行われる研修には積極的に参加し、虐待防止・身体拘束への理解や事例検証での職員共通の認識を図りました。

基本方針2「健康で安心・安楽を追求するサービスの推進」では、大規模災害想定時及び新型コロナなど感染症対策のBCP業務継続計画の策定や救急救命の外部研修参加職員の指導によりAEDの取扱い方法を行いました。また、食の面ではバイキング等も行いました。

基本方針3「やりがいある職の確保」については、味噌販売経費が減少したことによりB型平均工賃は前年を4.6%上回る31,639円となっています。令和5年度の全国平均工賃が23,053円、県平均が19,882円であることから令和6年度も県内B型事業所の上位を維持することができました。今後もこの状態を継続し利用者の就労意欲と生きがいの向上に努めてまいります。

基本方針4「地域貢献と生きがいづくりの推進」では、これまでコロナ禍により開催が縮小されていた各種イベントにおいて、施設イメージアップのため県主催のナイスハート美術展や各種スポーツ大会等に積極的に参加してそれぞれ頭書の成績を納めることができました。

基本方針5「安らぎある快適な環境づくり」では、花壇等の整備については今後の運営状況や緊急性を考慮し次年度以降とします。

基本方針6「効率効果的な施設運営と職員資質の向上」については、食料品、日用品、光熱水費及び修繕費等の経常経費の高騰に対応しつつ健全な施設運営に努めました。

次ページ以下の詳細資料を含め令和6年度の事業報告とします。